

第2回長浜港内港埋立事業基本計画検討会

日時：令和5年10月25日（水）

18：30～

場所：大洲市長浜ふれあい会館

4階大ホール

委員の皆様から次のような意見が出されました。

委員 1	・事業者誘致で現実性があるのがコンビニだけというのはちょっと残念な気がする。
委員 2	・埋立てができた段階で道路から先に工事をされると思うが、その他の施設について、整備する順番は決まっているのか？ 【大洲市回答】⇒今のところはこの施設から整備するかの順番は決めていない。
委員 3	・説明があった埋立ての高さであれば非常にありがたい。
委員 4	・健康のため、スポーツのため子供からお年寄りまでが利用できる施設や設備を希望する。
委員 5	・港湾緑地や小型船だまり東の市有地を早めに整備し、埋立てが完了するまでにイベントや事業をそこで行い、埋立地の施設が完成すれば一緒にいろいろなイベントができる。 ・埋立地の施設ができて「さあイベントをしましょう」と言ってもなかなかすぐにはできない。埋立完了前から布石を打っていけるのでは。 ・イベントなどで会場を使用する際の使用料について、講師謝礼を賄うために参加料をとると利益が出るということで使用料が高くなったりする。受益者負担の考えも分かるが普通の人参加料をとりながらでもイベントができるよう検討してもらいたい。
委員 6	・配置計画について A・B・C 案と 3 案あり、それぞれメリットデメリットがあるが、一体感があるのは C 案である。 ・早く完成してほしいというのが長浜の祈りに近いものがある。
委員 7	・公園やレクリエーション施設では使い勝手の良い場所にトイレを設置してもらいたい。
委員 8	・配置計画を見ると個性がないというかどこにでもあるありふれたもので魅力がない。何か特徴のある目玉となるような何か特化したものが欲しい。
委員 9	・事業者アンケートでも 10 年先のことなので今は分からないという回答であったが、今の段階で事業者に出店しないかと働きかけるのも難しいと思う。商業施設の出店については、今後進めていく中で募集したり、ある程度形が見えてきたら出店希望も出てくると思う。

検討会会長

【港湾緑地の活用について】

・港湾緑地にキャンプ場などを整備するとしたら、絶対有料にしないとイケない。無料ではなくてちょっとお金を払ってそれだけのサービスを提供できるようにした上で、さらに今後、港湾緑地と便益施設用地とを気持ちのよい空間で歩けるようになるとサッカー場や、今長浜で不足しているようなスポーツの空間を活用しながらということも期待できるのではと思う。

・第1回の検討会では埋立地のところを中心に話していたが、それだけではなく港湾緑地や市有地との連携をとりながらその間を繋いでいくような空間整備というのが必要になってくと思う。

その辺りも埋立て完了が10年先とはなっているが、できるところから早めに整備していくというのはあるのではと思う。

【港湾緑地の早めの整備に対する意見】

・すごく重要なことだと思う。空間はできたが、そこをマネジメントしていくような主体は突然にはできない。都会だと民間事業者でPFIでお金を出してやるということもあるが、おそらく地方部においては、公園管理やイベントも含めてPFIに出してもおそらく民間事業者は手をあげてくれない。となると結局はその主体は私は地元だと思う。長浜の様々な活動をされている方々が維持管理をしながらそこでイベントをするというような場所としてここが活用できるのであれば、極めて重要な指摘だと思う。

・行政的には少しでも税金の投入を減らしたいというので、指定管理制度とかどんどん出しているようなことがあるが、指定管理制度があまり評判が良くないのは、安かろう、悪かろうの方にどんどんいってしまう。税金が出ていくのが少なくなるからOKだというようなことがしばしば多くの市町の議会などで言われることが多いがそうではない。本来は費用をかけた分以上の管理ができるから指定管理制度というのが生まれたのであるが、それを運用していくなかでどんどん安かろう、悪かろうの方にいってしまったところは非常に熟知する思いがある。

・それをうまく運用していこうとするとやはりそこを管理するような主体がここの場所に愛情を持っているような人たちが入っていかないと無理である。私はぜひ長浜の方々のこれまでの活動とか、それを更に底上げしていくような場所として、まずはこの港湾緑地が使えるのであれば、そこでいろいろなことをやっていくような主体をつくって、それをマネジメントしていくような場所としてやっていけば自然とこちらの埋立地の所は皆さんがワクワクしながら待てるというような形になると思う。そこはすごく重要だと思う。

・私は長浜の底力というのを信じているので、地域の方々の活躍の場としてここが港湾緑地を含めて活用されるような形になれば採算がどうのこうのという風に言うのではなく、将来に対する投資だということでお金を出していくことができれば、ここはいい空間になるのではないかと思うが、そうならないのであれば、見捨てられていくような場所になってしまう。

・その分かれ目は基本的には地元が握っている。地元の活動されているような方々が、どういうようなところ、どういう風なことをしたいのかということが実現できるような場としてまず作っていくことが確認できれば、どんどん進めていけばいいのではと単純に思っている。

【魅力的なものについて】

・私は松山に住んでまだ 10 年で、松山から考えたときに長浜の魅力って何かと言われて確かに水族館はそうだと思うが、それだけではなく、第 1 回の時にも話した高知県のいの町の山奥のレストランがものすごく印象に残っていて、そのレストランはもうずっといっぱい客がいる。

何でこんなにリピーターが多くて、土曜、日曜日でも人で溢れているのかというのは、行ったらすぐ分かった。もう地元のレストランというか食堂なのだが、何を見せているかというと、生き生きと働いている地元のおばあちゃん達が作っている料理の風景が食事になっている。普通、厨房は困ってしまうが、ガラス張りにして、そういうような地元の食べ物を本当の人たちが作っているというのが、ものすごく都会の人間なんかは魅力的に思っているのだと思う。

・もちろん長浜の水族館というハードもいいとは思いますが、長浜で普段生活されてきた美しいもの。食事であったりとか、そういうようなものが、魅力的であって、そこを忘れてハードに頼ってしまうと、結構しっぺ返しにあいそうな気がする。そういうものではないような長浜での暮らし、フグなのか何かは分からないが、そういったものが私的にはリピーターとして来たいなと思うし、海もこの間の学生ワークショップの時に連れて行ってもらって、港湾緑地の所から見させてもらったが、やっぱりいい。ああいうような何も無いけど、海があるというようなところは確かにこれなら学生が来るなと思う。

そういうような何気ない風景なり、長浜の食べ物なりそういった本物を味わえる場所というのはずっと魅力をもち続けるのではと思う。

・もちろん長浜の伝統的な建物の造りがあるのならそういったものをしっかり取り入れたものにするとかいろいろなやり方があると思う。個人的にはそういうのがいいなと思う。これは単なる一つの個人の意見であるが、そういうようなものが南予の地域にはいっぱいある。その魅力をぜひ繋げることができれば、道の駅としても十分機能していくのではないかと思う。

- ・ 配置計画の A・B・C 案についてどの案がよいか決を採った結果、C 案で決定した。
- ・ 今後の検討会については、大幅な変更がある場合又はパブリックコメント終了後に検討会を開催することとなった。